

# CentreCOM FH708EXL

## ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FH708EXLをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、100BASE-TX/10BASE-T オートネゴシエーションポートを8ポート装備したデュアルスピードのファーストイーサネット・リピータです。

接続したポートの通信速度によって、自動的に100Mbpsと10Mbpsの2つのドメインを内部で構成し、それぞれのドメイン間で通信が可能なブリッジ機能を持つため、100Mbpsと10Mbpsが混在したネットワーク環境のご使用に最適です。

本書をよくお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

### ● 特長

- コンパクトなボディサイズ
- 100BASE-TX/10BASE-T オートネゴシエーション機能
- 100Mbpsから10Mbpsへの転送時にパケットの損失を防ぐバックプレッシャ機能
- 外部電源型 AC アダプタの標準装備
- カスケード接続専用のポートを1ポート装備
- ネットワークや機器の状態が一目でわかるLED表示機能

### ● 梱包内容

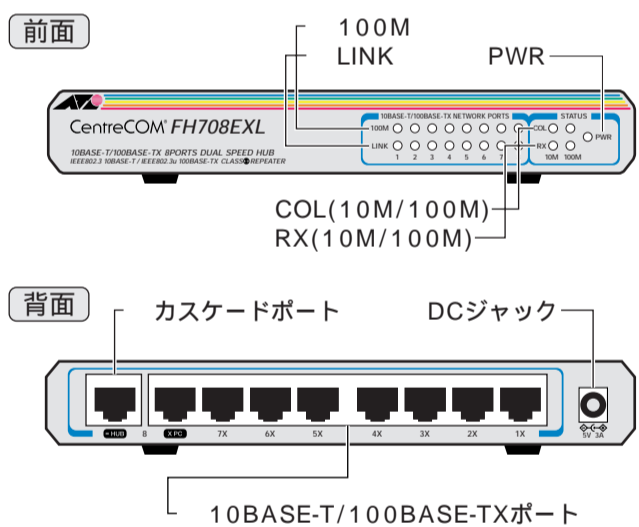
最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。万一、欠品、不良などがございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

- CentreCOM FH708EXL 本体
- AC アダプタ
- 製品保証書(3年保証)
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール
- ユーザーマニュアル(本書)

### ● 再梱包

本製品を移送する場合、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

### ● 各部の名称と機能



**PWR(緑)**  
電源が正しく供給されているときに点灯します。

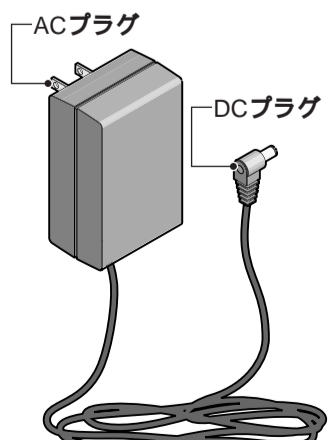
**COL(10M/100M(橙))**  
コリジョンが発生しているときに点灯します。100BASE-TXのドメインで発生している場合は「100M」、10BASE-Tのドメインで発生している場合は「10M」が点灯します。

**RX(10M/100M(緑))**  
パケットが正しく受信されているときに点滅します。

**100M(緑)**  
ポートが、100Mbpsで正常に動作しているときに点灯します。10Mbpsで動作しているときは点灯しません。

**LINK(緑)**  
ポートが正常にリンクされ、相互に通信が可能な状態のときに点灯します。

**DC ジャック**  
AC アダプタの DC プラグを接続するためのコネクタです。



**10BASE-T/100BASE-TX ポート**  
100BASE-TX、または10BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。

このポートは、オートネゴシエーションによって通信速度(100Mbps/10Mbps)を自動検出し、最適な状態で接続します。

(通信モードは、Half Duplex 固定となります。)  
また、ブリッジ機能によって100BASE-TXポートと10BASE-Tポートの間で相互に通信を行うことができます。ポート8(x PCポート)は、カスケードポート(=HUBポート)と共用のため、カスケードポート(=HUBポート)と同時に使用することはできません。

**カスケードポート(=HUBポート)**  
他のリピータやスイッチと接続する場合に使用するカスケード接続専用ポートです。このポートは、10BASE-T/100BASE-TXポートのポート8(x PCポート)と共用のため、ポート8(x PCポート)と同時に使用することはできません。

### ● 設置するまえに

**設置場所**  
本製品を設定する場所については、次の点にご注意ください。

- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本体側面をふさがないように設置してください。
- テレビ、ラジオ、無線機などの側に設置しないでください。

**電源**  
必ず付属のACアダプタを使用し、AC100/120Vのコンセントに接続してください。それ以外のACアダプタやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

- 別売マグネットキットの取り付け**  
本製品をOAデスクの横などの垂直な場所に設置する場合は、別売の「マグネット Kit MS」を使用します。
1. プラスドライバーを用いて機器底面のゴム足を取り外します。
  2. 次に、図2のように、外したネジを用いてマグネットを本体に固定します。

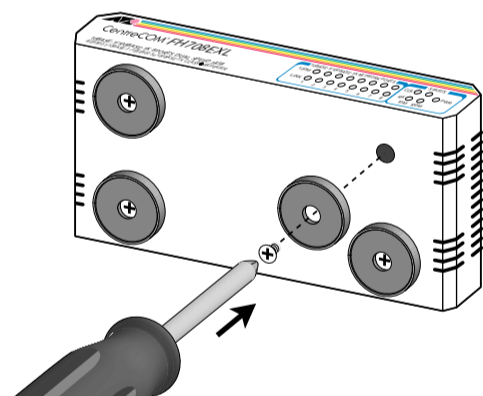


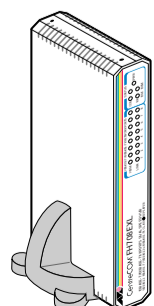
図 ゴム脚およびマグネットの取り付け

### ● マグネット使用および取り扱い上の注意

- ⚠ 設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。
- ⚠ 取り付けの際は機器およびケーブルの重みにより機器が落下しないように確実に取り付け・設置してください。ケガ・故障の原因になることがあります。
- ⚠ 機器をマグネットで高所に取り付けしないでください。落下によるケガ・機器破損の恐れがあります。
- ⚠ 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。落下によるケガ・故障の原因となる場合があります。
- ⚠ OAデスク等にマグネットで機器を取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつく恐れがあります。
- ⚠ マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去される恐れがあります。
- ⚠ 機器をマグネットでパソコンおよびディスプレイなどの電子機器には取り付けしないでください。

### ● 別売スタンドキット

別売の「ミニ HUB 専用スタンド kit」を使用すると、FH708EXLを机上などで立てて使用できます。



### ● 接続のしかた

**ケーブル**  
すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。本製品と端末を接続するケーブルの長さは100m以内にしてください。また、ケーブルは100BASE-TXの場合はカテゴリ5のUTPケーブル(ストレートタイプ)、10BASE-Tの場合はカテゴリ3以上のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

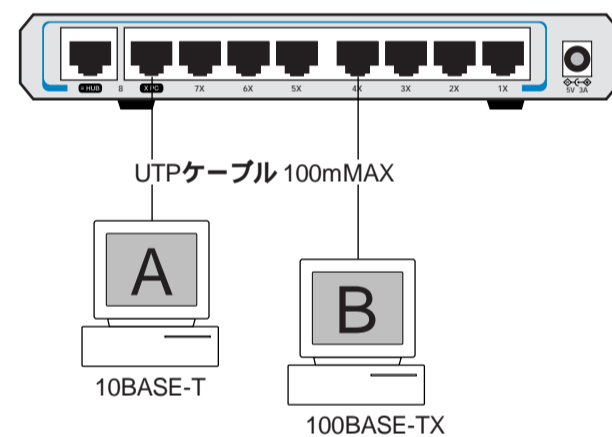
**起動と停止**  
本体背面のDCジャックにACアダプタのDCプラグを接続しておきます。ACアダプタのACプラグをコンセントに差し込み起動します。ACアダプタのACプラグをコンセントから抜くと停止します。本製品に電源スイッチはありません。ACアダプタのACプラグをコンセントに差し込んだ時点で、電源がオンとなりますのでご注意ください。

**通信モード**  
IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、必ず接続先の機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

- 接続手順**
1. 本体背面の10BASE-T/100BASE-TXポートにUTPケーブルを接続します。
  2. ネットワークに接続する端末に、100BASE-TX/10BASE-Tネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。
  3. ACアダプタのDCプラグを本体背面のDCジャックに差し込んでから、ACプラグをコンセントに差し込みます。
  4. 本体前面のPWR LED が点灯することを確認します。UTPケーブルの接続が正しく行われていれば、接続したポートのLINK LED が点灯します。

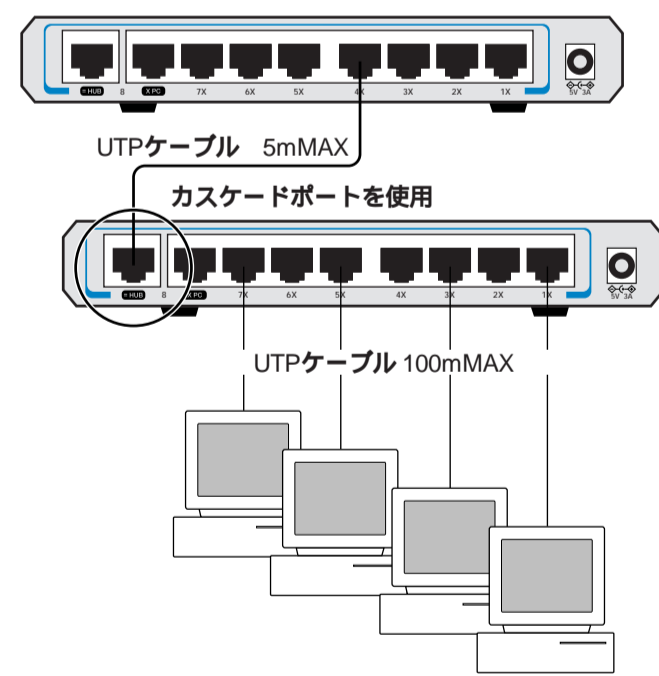
### ● スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。本製品と端末間のUTPケーブルの長さは100m以内してください。端末Aと端末Bは、ブリッジ機能によって相互に通信を行うことができます。また、10BASE-Tと100BASE-TXはそれぞれ独立したコリジョンドメインを構成します。



### ● カスケード接続

カスケードポートを使用すると、ケーブルを変更することなく簡単にカスケード接続を行うことができます。



- 接続手順**
1. 本体背面のカスケードポートにUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。カスケードポートは、10BASE-T/100BASE-TXポートのポート8(x PCポート)と共用のため、ポート8(x PCポート)と同時に使用することはできません。
  2. UTPケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を接続機器の通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートに接続します。

**ケーブル長**  
他のリピータの100BASE-TXポートと接続する場合は、UTPケーブルは5m以内(カスケード接続ができるのは、クラスIIリピータのみです。)

他のリピータの10BASE-Tポートと接続する場合は、UTPケーブルは100m以内

他のスイッチ、ブリッジ、ルータなどと接続する場合は、UTPケーブルは100m以内

本製品同士を接続する場合  
UTPケーブルは5m以内(本製品は、オートネゴシエーションによって100Mbpsで接続され、クラスIIリピータとして機能します。)

### ● トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、次のことを確認してください。

**PWR LED は点灯していますか?**  
PWR LEDが点灯していない場合は、ACアダプタのコードに断線がないか、ACアダプタが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

**LINK LED は点灯していますか?**  
LINK LEDは接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。点灯しない場合、次のことを確認してください。

- ・ 接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

- ・ UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。

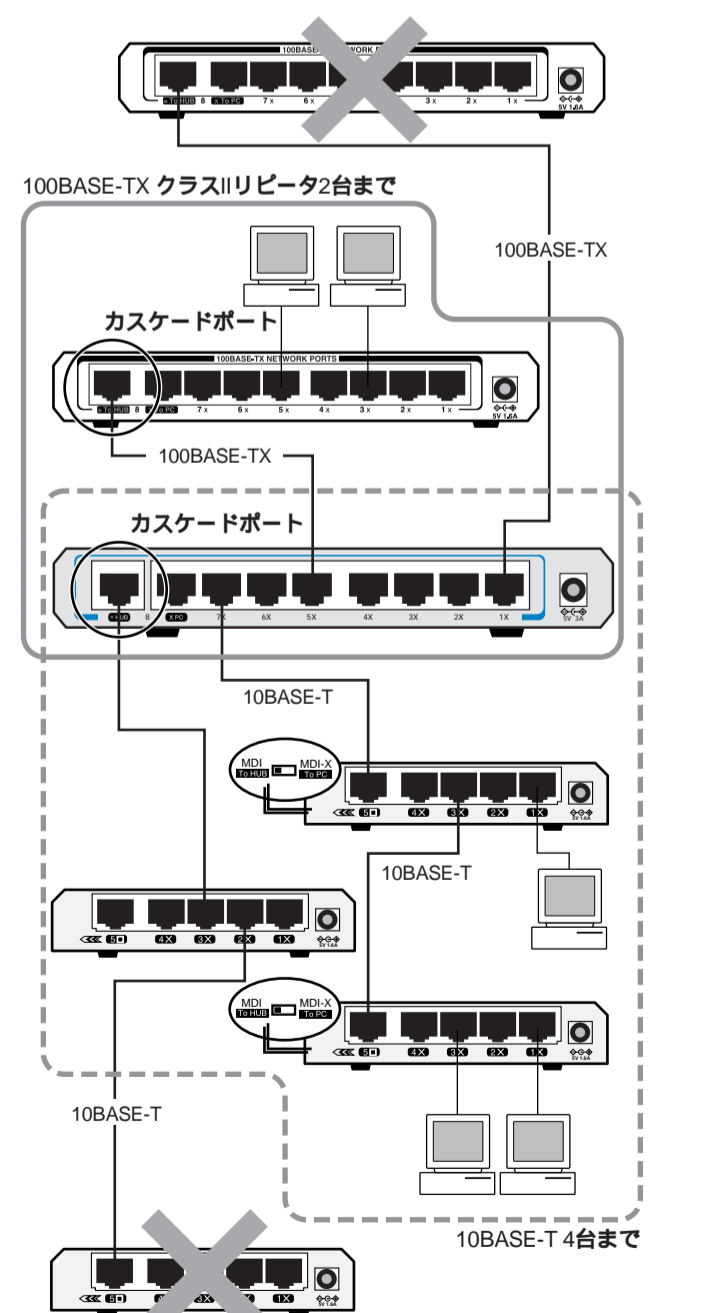
10BASE-Tの場合、本製品と端末を接続するケーブルの長さは100m以内です。100BASE-TXの場合、本製品と端末を接続するケーブルの長さは5m以内です。

本製品のカスケードポートを確認してください。本製品とリピータやスイッチをカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと他のリピータやスイッチの通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートを接続してください。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

接続先の機器の通信モードを確認してください。本製品の10BASE-T/100BASE-TXポートは、通信速度(100Mbps/10Mbps)を自動検出して最適な状態で接続するオートネゴシエーション機能をサポートしています。IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、必ず接続先の機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

リピータの数が制限を超えていないか確認してください。10Mbps接続の場合、カスケードできるリピータの台数は、最大4台までとされています。100Mbps接続の場合、クラスIIリピータは、1つのコリジョンドメインで2台までをカスケード接続することができます。この場合、リピータ間のケーブルの長さは5m以内としてください。なお、クラスIIリピータは、カスケード接続することができません。



# 調査依頼書 (CentreCOM FH708EXL)

年 月 日

## 一般事項

1. 御社名：

部署名：

ご連絡先住所：〒

TEL:( )

ご担当者：

FAX:( )

2. 購入先：

購入先担当者：

購入年月日：

連絡先(TEL):( )

## ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種 (製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名：CentreCOM FH708EXL



2. お問い合わせ内容

設置中に起こっている障害

別紙あり

別紙なし

設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

別紙あり

別紙なし

### ● 推奨ケーブル

100BASE-TX/10BASE-T ケーブル  
ストレート結線の UTP ケーブル( Unshielded Twisted Pair Cable = シールドなしツイストペアケーブル )を使用してください。  
100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 の UTP ケーブル、10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上の UTP ケーブルを使用してください。

### ● 製品仕様

サポート規格	IEEE802.3 /IEEE802.3u 100BASE-TX classII repeater
電源部	定格入力電圧: AC100-120V 入力電圧範囲: AC90 ~ 132V 定格周波数 : 50/60Hz 平均消費電力: 10W(最大 12W) 発熱量 : 8.6kcal/h(最大 10.3kcal/h)
環境条件	保管時温度 : -20 ~ 60 保管時湿度 : 95% 以下 (ただし、結露なきこと) 動作時温度 : 0 ~ 40 動作時湿度 : 80% 以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	: 175(W)×98(D)×26(H)mm
重量	: 500g(ACアダプタ含まず)
MAC アドレス登録数	: 2K
アドレス保持時間	: 300 秒
適用規格	EMI : VCCI クラス B

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 ( V C C I ) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

### ● 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。  
「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

### ● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害 ( 人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない ) については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

### ● ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先に FAX してください。  
電話による直接の問い合わせはなるべくご遠慮ください。  
FAX で詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。  
記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター
Tel: 0120-860-772
月～金 (祝・祭日を除く) 10:00-19:00
土 (祝・祭日を除く) 10:00-17:00
Fax: 0120-860-662
年中無休 24 時間受け付け

### ● 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。  
迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

### ● 使用しているハードウェアについて

\* 製品名、製品のシリアル番号 ( S / N )、製品リビジョンコード ( Rev ) を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

( 例 )  S/N 00077000002346 Rev AA

### ● お問い合わせ内容について

\* どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に ( 再現できるように ) 記入してください。  
\* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

### ● ネットワーク構成について

\* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。  
\* 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

### ● おことわり

・ 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部、または全部をコピー、または転載することを禁じます。  
・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。  
・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。  
・ 本製品の内容、またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright 1998-1999 アライドテレシス株式会社

### ● 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。  
イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

### ● マニュアルバージョン

1999 年 3 月 Rev.A 初版

## 使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ず守ってください。守られていない場合、感電や怪我、火災、故障の原因となります。



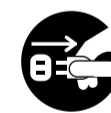
分解禁止

分解や改造をしない  
ネジで固定されているパネルやカバーを開けたり、部品を変更して使用したりしないでください。  
内部には電圧が高い部分があり、感電や発火のおそれがあります。



禁止

ACアダプタのコードを傷つけない  
ACアダプタのコードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源ケーブルを傷め、火災や感電のおそれがあります。



プラグを抜く

設置や移動のときは電源プラグを抜く  
本製品を設置、および移動を行う場合は、接続されている機器の電源スイッチを切り、ACアダプタをはずしてから行ってください。  
ACアダプタのコードが傷つき、火災や、感電の原因となったり、機器の落下などによりケガの原因となることがあります。



感電注意

雷発生時には装置にさわらない  
雷発生時には、本体、および電源コード、接続ケーブルなどにさわらないでください。  
雷発生時に本体、ケーブル類に触れると感電のおそれがあります。



禁止

不適切な場所に設置や保管をしないでください。  
火災や感電の原因となることがあります。  
・直射日光の当たる場所  
・高温、多湿の場所  
・火気のある場所  
・ほこりが多い場所  
・振動が激しい場所  
・腐食性のガスが発生する場所



指 示

本体ボディのお手入れ  
本体ボディのお手入れは、柔らかい乾いた布でふいてください。  
汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤をふくんだ布でふいた後、からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



禁止

指定の電源電圧以外を使用しない  
電源プラグは、AC100/120Vのコンセント以外には差し込まないでください。  
また、タコ足配線をしないでください。  
他の装置と併用すると、分岐コンセント部の発熱による発火や感電のおそれがあります。



指 示

通気口をふさがないように設置する  
本製品の通気口をふさがないように設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。  
温度 0 ~ 40% 湿度 80% 以下 (ただし、結露なきこと)